



第346号
2006年(平成18年)
1月20日

発行 明治大学
編集 明治大学広報部
TEL 03 (3296) 4083
E-mail: koho@mics.meiji.ac.jp
東京都千代田区神田駿河台1-1 (〒101-8301)
http://www.meiji.ac.jp/

新しい旅立ちに備えて

学長 納谷 廣美



新年あけましておめでとうございます。学長として2回目の正月を迎えることになりましたが、年頭にあたり、日頃いろいろと考えているところの一端を述べてみたいと思います。

本学は、昨年引き続き今年も箱根駅伝に出場できることになり、在学生のみなさんももちろん、卒業生や父母会のみなさんも喜び、かつ熱心に応援しました。そして、オール明治は、勝利にむけて燃えました。このように「紫紺の旗」のもと、ただ「明治」ということだけで老若男女を問わず一致団結して「燃える」姿こそ、本学の伝統的な力であり、みなさんにとって、これからの長い人生において常に心の支えとなるものです。箱根駅伝に限りません。他のスポーツやサークル活動、さらにはゼミや教室で肩を並べた学友との間で「共通の場」を得て、いろいろな喜怒哀楽の情を共有して、自らの青春を実感していただきたいと願っています。

大学で専門的な知識を学ぶことは大切です。また、確かに、学生のみなさんが就職問題など目先のことにとらわれることにも、十分に理解できます。しかし、戦後60年の日本を振り返ってみて下さい。今や世界的にも経済大国と評される日本ですが、この「島国」日本に限ってみても、この間、産業界はほぼ10年刻みで、衣食住、鉄・石炭、石油とその関連産業、銀行・証券などのサービス産業、さらには情報(IT)と、時代の花形(主役)を変えてきています。この産業構造の質的転換(推移)は、多種多様な社会問題を随伴しているにもかかわらず、右肩上がりの経済復興と成長のなかで、いわば埋没する形で問題解決が先送りされてきたといっても過言でないと思います。たとえば経済的効率性を優先させ、人の心や自然環境を破壊してきたことは、今後解決していかなければならない課題の一つです。

つとにえます。

今や日本は、国際社会という舞台で独自の役割をはたすことが求められています。21世紀はグローバルイゼーションが一段と加速して、人類の平和的共存という理念の具現化が強く求められる時代になると思います。また、陸地だけではなく、海洋や宇宙の領域にまで人々の活動範囲は拡大・深化することは間違いありません。このような状況・時代にあることを十分に自覚し、世界で活躍する道を見出し、してほしいと願っています。

論語に「温故知新」(故(ふる)きを温(たず)ねて新(あたらし)しきを知(し)る)という言葉があります。現代をしなやかに生きるためにも、みなさんにはぜひ心にとどめてほしいと思います。

結びにあたりまして、今年はずいぶん、健やかな年になりますよう祈念して、新年の所感といたします。

点

2007年問題という言葉がある。1947年から49年にかけて生まれた約一千万人が60歳を迎え、社会の一線から退く事態をいうのだが、大きな社会変動の分水嶺として注目されている。この世代を「団塊の世代」といい、他にもテレビっ子世代、マンガ世代、全共闘世代と呼ぶことはみなさんも知っている。優れてその特色を表現した言葉である▼ところで、わが『学園だより』の創刊号は1997年、すなわちこの団塊の世代が学生時代を迎え、全共闘運動や学園紛争が高揚した年に発刊された。各大学で大学改革が求められ、正確な大学の方針や事情説明が必要となった背景がある。発刊にあたって当時の中川富弥学長は『学園だより』を「大学と学生諸君の対話と交流の場、相互理解と親睦のよすが」として「旨強調されている」▼最近、鳥泰三氏が中公新書で『安田講堂1968-1969』を著し話題を攫っているが、歴史事象として全共闘運動や大学改革のその後を君たちの曇らぬ眼でみつめ直すことは大切なことであろう。いずれにせよ、シュトウルム・ウント・ドラック(疾風怒濤)に身を置き社会に出ては日本経済を支えた人々も老い、創刊以来36年も関みした「学園だより」も色あせたコートのように流行遅れを感じさせる▼コミュニケーション手段が目を見張る発達を遂げている今日、それにあわせた衣替えが求められている。WEBサイトとの融合や学生のみなさんの参加も考慮した新世紀の広報紙に生まれ変わりたい。ぜひ期待してほしい。

2007年問題という言葉がある。1947年から49年にかけて生まれた約一千万人が60歳を迎え、社会の一線から退く事態をいうのだが、大きな社会変動の分水嶺として注目されている。この世代を「団塊の世代」といい、他にもテレビっ子世代、マンガ世代、全共闘世代と呼ぶことはみなさんも知っている。優れてその特色を表現した言葉である▼ところで、わが『学園だより』の創刊号は1997年、すなわちこの団塊の世代が学生時代を迎え、全共闘運動や学園紛争が高揚した年に発刊された。各大学で大学改革が求められ、正確な大学の方針や事情説明が必要となった背景がある。発刊にあたって当時の中川富弥学長は『学園だより』を「大学と学生諸君の対話と交流の場、相互理解と親睦のよすが」として「旨強調されている」▼最近、鳥泰三氏が中公新書で『安田講堂1968-1969』を著し話題を攫っているが、歴史事象として全共闘運動や大学改革のその後を君たちの曇らぬ眼でみつめ直すことは大切なことであろう。いずれにせよ、シュトウルム・ウント・ドラック(疾風怒濤)に身を置き社会に出ては日本経済を支えた人々も老い、創刊以来36年も関みした「学園だより」も色あせたコートのように流行遅れを感じさせる▼コミュニケーション手段が目を見張る発達を遂げている今日、それにあわせた衣替えが求められている。WEBサイトとの融合や学生のみなさんの参加も考慮した新世紀の広報紙に生まれ変わりたい。ぜひ期待してほしい。

第10回明治大学学長杯

留学生日本語スピーチコンテスト
入賞スピーチ

前号の学長賞受賞スピーチ(理工学部1年・宣美演さん)に引き続き、昨年11月12日(土)に開催された第10回明治大学学長杯留学生日本語スピーチコンテストの入賞スピーチを紹介する。

国際交流センター所長賞

案ずるより産むが易し

法学部1年 呂 澤毅

(ロ・タクギ、中国)

「とりあえず家に来なよ」という大下君の一言から、私の運命の出会いが始まりました。

一昨年8月、日本が大好きな私は新たな環境での様々な出会いを楽しみに来日しました。

日本語学校に通い始めてすぐ、止むを得ない理由で寮を出ることになり、さらに、一時的に友人の部屋を借りたことにより、

大家さんに3日以内に出て行けと宣告され、途方に暮れてしまいました。

いよいよ明日が期限と言う日、バイト先に新人の日本人が入ってきました。この人こそ現在私のルー



ムメイトであり、徳島県出身で私たちが知り合う少し前に上京してきた大下君なのでした。お互いに話が弾み、ふと私の厳しい現状を話したその時、「このままじゃあかんわ。部屋が見つかるまでとりあえず家に来なよ」と大下君に誘われ、私と日本の若者との不思議な共同生活がスタートしました。

1DKの部屋にはもう一人いました。大下君の同級生の森君です。私にとって初めての留学生生活、初めての海外の若者との共同生活なので、うまくいくかどうかドキドキしつつ、緊張しつつ、狭い1DKでの三人の生活は始まりました。

共同生活が始まって一週間も経たないある日の放課後、私がいつものように買い物から帰って、部屋に入った瞬間、私は目を疑いました。何と森君の布団の上に、福沢諭吉さんが十何人も散らかっていたからです。「まさか泥棒? いや給与明細もあるし」。もしかして森君は朝慌てて出かけて、片付けるのを忘れたのかも知れない。あ、片付けてあげたいけど、勝手に触

て良いかなあ?」と私は考えました。「でもとにかく何とかしてあげなきゃ。お金がなくなったら大変だ」と思い、注意深く一枚一枚一万円札を拾って、給与明細の封筒の中に入れ、森君の枕もとに置きました。私はほっとした反面、森君のお金を勝手に触ったので、彼を不愉快な気持ちにさせてしまうかなと不安になりました。

その晩、二人ともほぼ同じ時間に帰ってきました。森君はお金を整理していたことに気付き、「呂君悪いなあ。ちゃんと片付けてくれてほんまにありがとうな」と笑顔で感謝の気持ちを伝えてくれました。「この部屋は俺ら三人のものんやから、気が使わんと気軽に自由に使こて」とも優しく言ってくれました。この二言は私の胸を打ち、感動させました。お互いに初対面から一週間も経っていないのに私を仲間として信頼し切ってくれていたのです。

特に去年の秋頃から、私は受験勉強で忙しい日々が続きました。受験の参考書も多く、ダイニングキッチンテーブルは、ほとんど私のもので占領されてしまいました。三人でこの部屋の面積を最も占めているのも私になりました。文句を言われるどころか、さらに大下君は受験勉強の間、私の分の洗濯まで引き受けてくれました。二人は私が受験に精一杯集中できる環境をつくってくれて、またまた感動しました。

このプライベートの一切ない共同生活は、現在すべて順調にいきます。その理由は、相性も大切ですが、一番大事なものは行動に移したからだと思えます。もし行動に移さなかったら、この経験は絶対にあらずで済んだ。結果、私は今、この共同生活が「案ずるより産むが易し」という言葉そのものを表していると実感しています。

これまで二人が私のためにしてくれたことへの感謝の気持ちは筆舌に尽くせません。どうやって恩返しができるのでしょうか? 大下君はよく大好きな言葉を私に言うてくれます。『案ずるより産むが易し』やで」と。

こうして二年間喧嘩らしい喧嘩もせず、私たちの共同生活は、ますます発展中です。「俺たち三人は家族やから!」が三人の口癖になっています。ご清聴ありがとうございます。以上です。

これらから、僕の彼女を紹介したいと思えます。といっても、みなさんの恋人とは違って、僕の彼女は何にもしゃべってくれないし、遊んでもくれません。しかし、その代わりに、いろいろと教えてくれるのです。僕が困った時も、挫けそうになったときも、僕の一番頼もしいパートナーです。彼女と一緒にいると、きっと生きがいのある、充実した生活が送れると思えます。そして、彼女はきっと成功へと導いてくれると僕は信じています。ここまで言ったら、「お前の彼女は一体何者? そんなにすごいのか?」と思う方もいるかと思えます。そのとおりです。僕の彼女はそれほどすごいです。しかし、やはり、すごいなりに追いつける時間も相当かかりました。詳しくいうと、僕たちの出会いは4年前に遡ります。

僕は4年前に自分の夢を探すために日本に来ました。しかし、憧れの日本では思いもよらない厳しい生活が僕を待っていたのです。君はよく大好きな言葉を私に言うてくれます。『案ずるより産むが易し』やで」と。

こうして二年間喧嘩らしい喧嘩もせず、私たちの共同生活は、ますます発展中です。「俺たち三人は家族やから!」が三人の口癖になっています。ご清聴ありがとうございます。以上です。

しかし、そんな僕にもついに春が来ました。最近、そのような生活の中でも、少しずつ楽しみを見出せるようになったからです。苦しいと思ったアルバイトで、始めはあまり話せなかった日本語も周りの仲間とコミュニケーションを取ることで鍛えられ、そこから、日本の文化や習慣を学ぶことができました。今の僕にとって、アルバイトはただの仕事場ではなく、仲間と夢を語り合う国際交流の場にもなっています。

政治経済学部3年 余 興

(シュ・キョウ、中国)

連合父母会長賞

僕の東京ラブストーリー



こうやって仲間がたくさんできて、自分もすっかり明るくなりました。また、大学の授業も、それまで苦しくて窮屈だったけれども、それでも、自分に負けず、積極的に授業を取り組むことによって、僕の知らない社会の実情を色々教えてもらい、資本主義の日本、そして社会主義の中国を見直すチャンスがくれました。中国での反日デモや小泉総理の靖国参拝などの問題についても、客観的に見られるようになりました。これから、両国がどうやって友好に発展していくのかは、きっと僕の新たな課題となるでしょう。今、僕は本当にいろいろと学びたいのです。知識を手に入れることが、今ほど嬉しいと思ったことはないからです。ある日、僕は気づきました。何年間もなくなっていた自分に対する自信がまた戻ってきたということ。そして、かつては大嫌いで帰りたいとさえ思った日本での生活でしたが、自分に負けないという気持ちで頑張った結果、大好きになっしまいました。

みなさん、僕の恋人がわかりました。僕はよく大好きな言葉を私に言うてくれます。『案ずるより産むが易し』やで」と。



情報コミュニケーション学部1年 柳 娜

(リュウ・ナ、中国)

多文化賞

メディアを通しての願い

私か？そうです、僕の恋人は僕の大好きな日本、大好きな留学生活なのです。このようなすばらしい恋ができて、僕は本当に幸せです。みなさんもそう思いませんか？このように本当は好きだと気づいていないことがまわりにたくさんあるのです。どんな嫌いなこと、嫌いな人に対しても、引いたり、逃げたりしないで、積極的に受け入れることで、彼らのいいところを感じてください。そうすれば、僕が体験したように、人生の中に

私がテレビに対して興味を持つようになった「きっかけはフジテレビ」ではありません。それは2003年4月のことでした。その当時、日本語学校で勉強していた私は、学校が半日制のため、よく一人でテレビを見ていました。言葉がわからないので画面を見るだけで楽しんでいました。最初に覚えた単語は「おいしい」です。なぜなら、日本のテレビ番組は食べ物についての企画が多く、タレン

トさんたちは何を食べても必ず「おいしい」と言うからです。そして、毎日テレビを見ていたため自然と日本のテレビ番組と中国のテレビ番組を比べていました。日本のテレビ番組は種類が多く、出演者もいろいろなことを自由に話せますが、中国のテレビ番組は単調で、まだ成長途中文がしました。例えば、TBSの定番バラエティ「ズバリ言うわよ」。テレビで人を占うのは中国では絶対に行えないことです。また、フジテレビでみのもんたさんが担当しているクイズ番組は、中国にもあります。しかし、みのもんたさんの「ファイナルアンサー」の時の迫りある顔がとても印象的です。このような例が多くて、数え切れないほどあります。元々、番組プロデューサーになりたいと思って情報コミュニケーション学部に入りましたが、このような中日間のメディアの特色の違いを知って、さらに大学の前期の授業を通してメディアについてよく理解し、自分自身でメディアが持つ影響力なども改めて実感しました。



商学部1年 王子驍

(オウ・ジギョウ、中国)

審査員特別賞

ミニ・ジャッキーへの道「人生の成功」への発想

迅速であるものだと語るでしよう。しかし、メディアは政治の武器ではありません。日本のメディアは中国に関して多様な角度から映像を流してほしいです。より面白く、暖かな映像を通して日本人々にもっと中国のことを知って

欲しいです。それは私のメディアを通しての願いです。そして、自分の夢をきちんと持ち、メディアを通して国境を越えた中国人と日本人の絆を築いていけるように頑張りたいです。ご清聴ありがとうございます。

また各映画の中には、ジャッキーが当時、感じ悟った人生哲学も表現されています。そしてもっと大事なのは、ジャッキーはスタントマンを使わず、自ら体を張って映画を完成させたことです。これは以前のアクション俳優たちが備えていないものでした。もちろん、成功したジャッキーを真似する人も相次いで現れましたが、ジャッキーは普通の人の何倍も努力をし、トレーニングとカンフーの練習に励み、常に現時点の自分を超越するために次々と新しい技や立ち回りに気を配ってきました。これこそジャッキーの成功の秘訣だと思います。この秘訣は、香港ばかりか、中国、アジア、そして世界中にも通用しました。今はみなさんご存知のとおり、ハリウッドの大スターになりました。全世界のアクションファンに好かれています。他の人がいくら模倣しても、ジャッキーとジャッキーの映画は新しくなっていくます。つまり、いくら追いかけてもジャッキーの真似をする限り、ジャッキーを追い抜く、いや、追いつくことすらできないのです。

みなさんは「人無我有、人有我優」という中国のことわざをご存知でしょうか？人にならない能力を身につけ、人が既に持っている能力では、それを身につけるだけではなく、より優れたものにしていくという意味です！

では、私が一番尊敬している世界的なアクションスター・ジャッキー・チェンを例に挙げて説明したいと思います。ジャッキーは京劇出身のアクション俳優です。彼が映画界に入ったときはちょうどブルース・リーブームで、当時の香港アクション俳優たちは相次いで彼を模倣していました。叫び声まで(あたゝりつ)一緒でした。ジャッキーも仕方なくこの流行に

乗ってしまいました。結局は全ての模倣者と同じように、アクションファンに好かれませんでした。そして、彼は一時映画界を引退し、香港を去ってオーストラリアにいた父親のもとに行きました。そこで彼はレストランでアルバイトをしながら、英語の勉強をしていました。しかし、ジャッキーは諦めなかつた！自分の夢を実現するために香港へ帰りました。

今度のジャッキーは、以前のよう

に人の模倣をするのではなく、人が持っていないものを作り出さなくては成功できないと悟ったのです。ブルース・リーの真似をするのではなく、自分のスタイルを作り出し、より速く、より美しく闘

露しました。そして、『酔拳』という映画でアクションファンの心をつかいました。ジャッキーのアクション映画は、単なる暴力ではあ

りません。ジャッキーの素早い動きと激しい立ち回りの中にはユーモアも入っています。観衆を興奮させたり緊張させたりすると同時に、笑わせてもいます。このユーモアはジャッキーのブランドです。

また各映画の中には、ジャッキーが当時、感じ悟った人生哲学も表現されています。そしてもっと大事なのは、ジャッキーはスタントマンを使わず、自ら体を張って映画を完成させたことです。これは以前のアクション俳優たちが備えていないものでした。もちろん、成功したジャッキーを真似する人も相次いで現れましたが、ジャッキーは普通の人の何倍も努力をし、トレーニングとカンフーの練習に励み、常に現時点の自分を超越するために次々と新しい技や立ち回りに気を配ってきました。これこそジャッキーの成功の秘訣だと思います。この秘訣は、香港ばかりか、中国、アジア、そして世界中にも通用しました。今はみなさんご存知のとおり、ハリウッドの大スターになりました。全世界のアクションファンに好かれています。他の人がいくら模倣しても、ジャッキーとジャッキーの映画は新しくなっていくます。つまり、いくら追いかけてもジャッキーの真似をする限り、ジャッキーを追い抜く、いや、追いつくことすらできないのです。

我々学生もそうだと思います。私は人生の成功を求め、世界トップクラスの経済力を誇る日本へ留学し、明治大学の商学部で中国より優れているビジネスの知識を身につけようとしています。それと同時に、日本語や英語、また情報分析力をも習得したいと思っています。そして、中国へ帰り、人が持っていない能力、人より優れた能力を臨機応変に使い、競争相手に勝ち、ビジネス界のミニ・ジャッキーになりたいと思っています。

『ありがとう』を言いました

第121回明大祭実行委員会委員長 三田 葵



第121回明大祭開催から2か月以上の月日が経とうとしていきます。3日間晴天に恵まれ、大きな事故もなく、3万人以上の方に来場していただき、本当にありがとうございました、また嬉しく思いました。

明大祭は3日間という短い時間でしたが、この3日間のために活動してきた明大祭実行委員会をは

じめとする多くの明大生や関係者の努力、意気込みが全て完全燃焼された学園祭でもありました。私も普段見ることができない明大生の一面を多く見ることができて感謝しました。そしてこの明大祭を通して、本当に多くの「人と人との繋がりが」ができ、大きな輪が作れたと思います。きっと明大祭に携わらなかったら得られなかったことがたくさんあり、今一度その事の重大さ、大切さ、その中心となり活動できたことのありがたさに気付かされました。

また、本年度特に力を注いだ環境対策では、ゴミの分別、分煙、

世田谷区立松原小学校の協力のもと、児童による環境ポスターの作成から掲示まで、様々な活動を行いました。そして、当日3日間を主として学内外、来場者、様々な方の協力を得られたことには深く感謝しています。私たちの力は小さなものですが、こうした活動が地球環境問題に目を向けるきっかけとなることを願ってやみません。

私は明大祭、そして明治大学が多くの人々に支えられていることを知り、その中で私たちは活動することができたことと実感しました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。そうした想いを今後も絶やすことなく、明治大学を盛り上げるべく努力するつもりです。

最後になりましたが、明大祭開催にあたりご指導、ご協力頂きました関係者、OB諸兄、協賛を賜りました各企業の皆様、そして来場下さいました皆様に厚く御礼申し上げます。

『ありがとう』を言いました。
(法学部4年)



人と人との繋がりを作れた

生明祭を終えて

第5回生明祭実行委員会委員長 大塚 和



第5回生明祭が昨年11月18日(金)〜20日(日)の3日間開催されました。週間天気予報では最終日の天気は雨という予報も出ていましたが、実行委員が日々努力してきた結果か、神様からの実行委員へのご褒美か、3日間とも雨一つ降らない好天に恵まれました。おかげで、多くの方に足を運んでいただき、過去最高の来場者数を記

録し、模擬店などでは売り切れが続出するほどでした。

今年は金・土・日曜日の開催で、1日目は平日ということもあり、明大生が楽しめるフットサル大会などが行われました。2日目は学生たちによる企画が多く行われ、中でも生明祭実行委員会企画局による秋葉系ファッションショーが予想以上の反響でした。3日目はもちろんお笑いライブが大人気を博しました。ムートン、HG(レザーライオンナップ)でお送りした豪華ライオンナップをはじめ、来場者にご迷惑をかけるようなこともあり、来年

へ課題を残す結果になってしまいました。そして、最後の明治大学応援団によるエンディングは、例年より多くの方に来ていただき、最後まで盛り上がりが見えることなく生明祭を終了することができました。華やかなステージ企画のほかにも、理科部連合会による理工展、研究室による展示、交響楽団などによる演奏会とアカデミックな企画も好評でした。また、農学部による農産物販売や花丹園芸部による花屋は今年も地域の方々に喜んでいただけました。さらに今年は、装飾局が新たに設置され、学内装飾にも力を入れました。廃棄物を利用した装飾はモザイク画をはじめ、ベクトルポトルタワーなど学内外にも大変好評でした。

最後になりましたが、生明祭を開催するにあたり、ご協力、ご指

導して下さった先生方、関係者の皆様に感謝申し上げます。また、今まで一緒に頑張ってきた実行委員のメンバーにも感謝しています。ありがとうございました。
(農学部3年)



過去最高の来場者数を記録

小学生による野菜販売を実施!!

学生による金銭教育

商学部3年(水野ゼミナール) 岸本 郁華

野菜は売り切れるのか?お客さんは来てくれるのか?子どもたちは積極的に参加してくれるのか?いろいろな不安の中、「八百屋さんに変身!実際に野菜を売ってみよう」が始まった。

この企画は商学部が産官学で共同運営する「ふれあい神田市場」で実際に八百屋を経営している私たち水野ゼミナールの学生が、その経験を生かして千代田区立昌平小学校5年生に経営に関することや人と人とのつながりを教えることができるのではないかと考え、始まったプロジェクトの第4回目。子どもたちが実際に野菜を売ることで、彼らにお店を経営することの楽しさや難しさ、働くことの大変さを肌で感じてもらうという

思いが込められている。子どもたちは私たちの不安とは裏腹に、朝から元気いっぱい。そして、私たちの心配をよき意味で裏切ってくれた。「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」「野菜、買っていいです」「野菜、買っていいです!!」という大きな、明るい声がお店に広がり、お客さんも列を成すほど。子どもたちの中には、「ジャガイモと人参でカレーをつくるのはどうですか?」と工夫して接客をしている子どももいた。彼らの頑張りで、野菜はほぼ1時間で完売。私たちの想像以上に、子どもたちは積極的かつ上手に野菜販売をしてくれた。

子どもたちの感想の中には、「最初は恥ずかしかったけれど、だんだん大きな声が出せるようになった」「もっと時間があつたらよかったのに」「レジをもっとすばやくできたらよかった」「自分なりの工夫ができた」などがあった。短い時間で販売実験を通して考えたり、感じたりすることは多かつたようだ。このような時間をともに経験できて、私たち大学生もうれしく、そして少し誇らしく思う。子どもたちのパワーを見せつけられた大成功の授業だった。



レジ係も体験

相談室の窓から

石井 知章
(相談員・商学部助教)

相談員をはじめて半年余りの月日が流れた。そもそも相談員になるといふ実感すら湧かないままにはじめたこの仕事だが、今では与えられた任務をそつなくこなし、それなりに板についてきたように思う。もちろん、これまでどんな成果があったのかと自問すれば、これといって他人に誇れるようなものはないし、自分だけの知識や技能、

ばかりであり、そのこと自体に何ら真新しいものはない。だが、もともと悩みの多い日々を「現在」に生きる彼らを前にしたとき、私はその真剣な眼差しの中に、かつて身近な問題から人生観や世界観に至るまで様々に悩んだ(はずの)過去の自分の姿を見出し、その自分と向き合うような思いに駆られる

過去と現在との対話

経験を生かしてことに当たったといえるようなものも、とくになかったかもしれない。たしかに学生の相談内容とは、学業、人間関係、進路、資格など、大学生活というより人生の一プロセスにおいて誰もが一度や二度は必ず悩む、ごく日常的なことから、自分の選択せざるを得なかったのか?あの時、いったいなぜ問題を自分で克服できなかったのか?—今ではほとんど消え失せそうな遙かなたの記憶も、彼らの経験とともに「現在の過去」として蘇るとき、その一つ一つがすべて真剣なものへと変化せざるを得ない。相談しているのが目の前の学生である

そう選択せざるを得なかったのか?あの時、いったいなぜ問題を自分で克服できなかったのか?—今ではほとんど消え失せそうな遙かなたの記憶も、彼らの経験とともに「現在の過去」として蘇るとき、その一つ一つがすべて真剣なものへと変化せざるを得ない。相談しているのが目の前の学生である

学費の納入について

1. 次年度の学費振込用紙は4月3日(月)発送の予定です。前期の納入期限は4月30日です。口座番号や振込金額が間違っていた場合、未納扱いとなりますので、必ずお手元に届く振込用紙で口座番号・金額を確認のうえ、お振込みください。
住所・送付先等の変更がある場合は、所属する学部・短期大学・大学院の各事務室へ至急「変更届」を提出してください。
後期分の振込用紙は9月下旬に発送予定です。
2. 2月・3月の事務取扱時間は下記のとおりです。
月～金 9:00～17:00
土 8:30～12:00

財務部 資金課学費係
TEL 03-3296-4096・4097

2006年度

学生定期健康診断のお知らせ

定期健康診断を次の日程で実施しますので、必ず全員受診してください。

学生事務部

【駿河台校舎】受付 リバティタワー15階

	9:00~11:00	13:00~15:00	17:00~19:00
4月3日(月)	男子 法・文・経営学部 4年生 大学院生(新生入を除く)	女子 全学部 3・4年生 大学院生(新生入を除く)	男子 二部全学部 大学院生
4月4日(火)	男子 商学部 3・4年生 政経学部 4年生 情コミ学部 3年生 大学院生	男子 法・文・経営学部 4年生	女子 二部全学部 一部法・政経学部 3・4年生 大学院生
4月5日(水)	女子 法・商・文学部 3・4年生	男子 商学部 3・4年生 政経学部 3年生	男子 二部全学部 一部商学部 4年生
4月6日(木)	男子 法・文・経営学部 3年生 大学院生	女子 政経・経営学部 3・4年生 情コミ学部 3年生 短大・大学院生	女子 一部商・文学部 3・4年生 大学院生
4月7日(金)	男子 政経学部 3・4年生 情コミ学部 3年生	男子 法・文・経営学部 3年生 大学院生	女子 (18:30で終了) 二部全学部 経営学部 3・4年生 情コミ学部 3年生 短大・大学院生

【和泉校舎】受付 第一校舎

	9:00~11:30	13:00~16:30
4月4日(火)	女子 政経・情コミ学部 1年生	男子 法・商・文・情コミ学部 1年生
4月5日(水)	男子 経営・情コミ学部 1年生 商学部 2年生	男子 法・商学部 1年生 政経学部 2年生
4月6日(木)	女子 商・経営学部 1年生	男子 政経・文・経営学部 1年生
4月7日(金)	男子 法・文・情コミ学部 2年生	男子 政経学部 1年生(15:30~16:30) 商・経営学部 2年生
4月8日(土)	女子 法・情コミ学部 2年生 文学部 1・2年生	女子 法学部 1年生 商・政経・経営学部 2年生
4月10日(月)	男子 法・政経・経営学部 2年生	男子 文・情コミ学部 2年生

【生田校舎】受付 食堂スクエア21 1階ラウンジ

	9:00~10:30	12:30~15:20
4月4日(火)	男子 理工学部 2年生(全学科)	男子 理工学部 4年生(工化・情報・数学・物理) 農学部 4年生(全学科)
4月5日(水)	男子 理工学部 3年生(全学科)	女子 理工・農学部 3・4年生 大学院生(新生入を除く)
4月6日(木)	男子 大学院生	男子 理工学部 1年生 (電電・電通・機械・機情・建築・応化)
4月7日(金)	男子 理工学部 4年生 (電電・電通・機械・機情・建築)	男子 農学部 2・3年生(全学科)
4月8日(土)	女子 理工・農学部 1・2年生 大学院生(新生入対象)	男子 理工学部 1年生 (情報・数学・物理) 農学部 1年生(全学科)

- 注1 スケジュール変更もありますので、詳細は各地区掲示板またはホームページで確認してください。
2. 検査項目:身長・体重・視力・検尿・血圧・問診・内科診察・胸部X線
 3. 受診に必要なもの:学生証、HB鉛筆、メガネ・コンタクト(使用者)、無地のTシャツ(女子)
 4. 2006年度に和泉体育館内のコンディショニングルームを利用するためには、この「定期健康診断」を受診していることと、コンディショニングルームの「利用講習」を受講することが条件となっています。

大学史の散歩道

71

大学史資料センター委員

村上 一博 (法学部教授)



井上操の肖像

JR長野駅から南へ、バスに揺られること約三〇分、一六世紀半ばに甲斐の武田信玄と越後の上杉謙信が北信濃の経略をめぐって争った川中島の古戦場跡を過ぎ、千曲川を渡ると、真田十萬石の城下町として栄えた松代に至る。町のそ

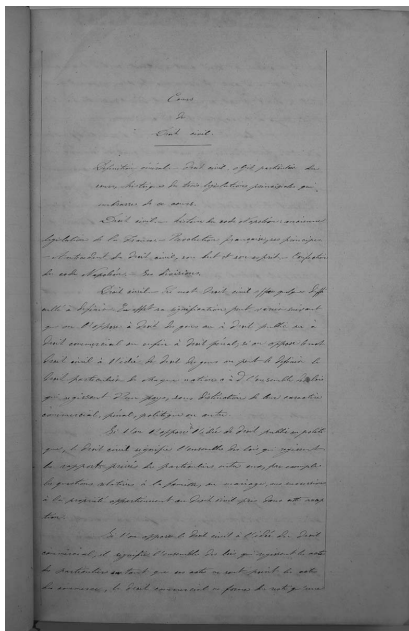
草創期明治法律学校で講師をつとめた井上操については、以前にも本欄で鈴木秀幸氏によって紹介されたことがあるが、後述のように、最近、井上操の令孫にあたる井上脩氏(操の三男三郎の子息)のご好意によって、司法省法学校時代に井上操が筆記したと推測される仏文の講義ノート三冊を閲覧

悲運の司法官 井上操の仏文ノート

こかしこに残る旧武家屋敷の美しい白壁が、往時の面影を今に伝えている。松代と聞けば、幕末の勤皇家として名高く、京都木屋町三条で攘夷派の浪士によって暗殺された佐久間象山の名前を思い起す人も多いであろう。現在、象山の遺品や関係資料は象山記念館に展示されているが、この記念館の敷地は、かつて井上操の居室の一部であった。

草創期明治法律学校で講師をつとめた井上操については、以前にも本欄で鈴木秀幸氏によって紹介されたことがあるが、後述のように、最近、井上操の令孫にあたる井上脩氏(操の三男三郎の子息)のご好意によって、司法省法学校時代に井上操が筆記したと推測される仏文の講義ノート三冊を閲覧

撮影する機会をえたので、その紹介を兼ねて、あらためて井上操の事跡を取り上げることにはしたい。井上操は、弘化四(一八四七)年九月二〇日に、松代藩の中級藩士(井上五郎左衛門(俸禄百石)の長男として生まれた。藩内の兵制士官学校で武田斐三郎に学んだのち東上、司法省明法寮生徒の欠員募集(明治五年八月の最初の生徒は二〇名であったが、六名の欠員が生じたため、六年七月に一〇名程度の補充募集が行われた)に応じて、矢代操・木下哲三郎・内藤直亮の三名とともに合格し、明治七年四月から正規の明法寮生徒となった。九年七月に同校を卒業してのち司法省に出仕するが(パリ大学への留学は、予算の関係で認められなかったと言われている)、その傍ら、一五年一〇月から明治法律学校で治罪法(刑事訴訟法)



仏文ノート(民法講義)

の講義を担当した。一九年二月に東京大学教授に任じられたが、まもなく判事となり、同年七月、大井憲太郎ら自由党左派による大阪事件を裁くため(臨時重罪裁判所の裁判長として)、大阪控訴院評定官への転進を命ぜられた。おりしも大阪では、法律学校創設の機運が高まっており、同年一月に関西法律学校(のち関西大学)が開設されたが、井上はこれに積極的に関与し、当初から刑法など諸講義を担当、その後も教学において中心的役割を担った。二二年一〇月に大阪控訴院部長に栄進、司法官として、また関西法律学校教師として、まさに脂の乗り切った時期を迎えたが、不運にも、二六年のある雪の日に天満橋上で落馬したことが起因となって、ついに執務不能の状態に陥り、二八年に大阪控訴院判事を辞任、同年秋、

松代に帰臥することとなった。それから一〇年、静養の甲斐もなく、三八年二月二三日に松代で死去した(享年五九歳。墓は、佐久間象山も眠る日蓮宗の古刹蓮乗寺にある)。

以上の略歴から知られるように、井上操は、いわゆる司法省法学校正則科一期生として本学の創立者らとともにフランス法を学び、卒業後は、司法省に出仕するかわり明治法律学校で主に治罪法を教えたのち、裁判官となって大阪控訴院に赴任してからは関西法律学校で教鞭をとった。明治二六(三八年)の後半生は、非運に見舞われて社会的活動をなし得なかったとはいえ、東京と大阪にまたがった前半生の活躍は、まさしく矚目に値する。彼の法理論を研究することは、明治大学および関西大学の法学部の歴史にとってのみならず、およそ日本近代法の黎明期におけるフランス法の受容とその運用を明らかにするうえで、重要な意味をもっている。

井上脩氏から閲覧撮影を許された井上操の仏文ノート三冊(“Cours de Droit civil”(民法講義)、“Cours de Droit administratif”, “Cours de Droit administratif”, Tome I”(行政法講義 第一巻)、“Conférence sur le Ministère public en France”(フランスにおける検察官に関する会議)は、司法省法学校生徒であった時代に聴講したボワソナード(ないしブスケ)の講義を、井上操自身が筆記したノートであろうと推測される。ボワソナードは、明治六年一月一日以来日し、翌七年四月九日から、司法省明法寮で自然法の講義(内容的には民法の財産法関係)を開始、明法寮が閉鎖(八年五月)されて後も、引き続き、司法省内に開設された法学校において、いわゆる正則科一期生を対象に、いくつかの科目の講義を行ったと言われてきた。当時の講義録としては、これまで、関口豊の仏文ノート“Cours de Droit naturel”とその翻訳である井上操筆記『民法講義』(明治一〇年六月刊)、それに、井上操筆記『刑法提要』(同年一月刊)の二種が確定だとされてきたものの、その講義の全容はいまだ明らかではない。この意味で、井上操の仏文ノート三冊は、これまでの研究の間隙を完全に埋める貴重な資料なのである。



井上操の墓碑



西谷尚徳 (にしたに・ひさのり)
 04年の東京六大学野球春季リーグ戦で主将として12季ぶりの優勝に貢献。大学通算3割3厘、3本塁打、27打点、ベストナイン3回。04年ドラフト4位で東北楽天ゴールデンイーグルスに入団。内野手。178cm・77kg。右投左打。05年文学部卒。

プロ野球

今しかないこの瞬間を全力で



大学生活を思いっきり満喫してほしい

これから社会に出ていく学生の力に少しでもなれたらと始めた連載もいよいよ今回が最終回です。この連載を通してプロ野球という特殊な世界の裏側、厳しさを知ってもらい、一人でも多くの学生がプロ野球に興味を持ってくれたとしたら本当に嬉しく思います。

新人としてのこの1年をふり返ると、ケガのため長期試合に出られない期間があり、自分の思い通りにいかない1年でした。新人なので試合に出たいと焦る気持ちと、ケガをじっくり完治させなくてはいけないという葛藤がありました。とはいえ、初めてプロの環境に飛び込んで、とても充実した1年でもありました。練習方法一つとっても、プロと大学のレベルは違い、初めて参加した春の久米島キャンプでは必死についていったことが思い出されます。終盤はファームの試合に出場することもでき、本拠地最終戦でのサヨナラホームランは忘れられない出来事でした。

来シーズンの目標は、まず一軍定着。これは絶対実現させたい。また、ファンに愛され、認知される選手、「西谷を見に球場へ行こう」と言ってもらえるプレイヤーになりたいです。そして、プロ野球選手としての最終目標は『記録ではなく記憶に残る選手』になることです。ただ、今は将来の夢よりも一軍を目指すことに死に物狂いで練習することが最初のステップだと考えています。ちなみに、尊敬している選手は、同じ明大出身のカツノリ選手。公私ともども本場にお世話になっています。

最後に、大学の4年間は長いようであっという間です。この短い大学生活を思いっきり満喫してほしいと思います。今しかないこの瞬間に精いっぱい全力を注いでください。運動部の学生も、運動だけでなく、学業にも全力で取り組み、社会に出たときのために、ぜひ文武両道を実現させてください。7回にわたりこの連載にお付き合いいただいた明大生のみなさん、ありがとうございました。

Rookie's Report ルーキー・レポート(最終回)

年

が明けて3年生は就職活動が本格化していると思います。1・2年生はやりたいことが見つかったのでしょうか。この連載も今回が最後なので、進路を考えているみなさんにアドバイス。TBSテレビから内定証を受け取った日、人事部の人たちと食事をしました。そのとき、どうして私が採用されたのか訊くと、面白い回答をしてくれたので、ここで紹介します。

「僕らが見ているポイントは2つ。与えた仕事をきちんとやってくれるかどうか。もうひとつは、その人のためになるかどうか。例えば、どんなに優秀でも、商社に入る方がその人のためだと思ったら採らないよ。」

この考え方は、どの企業にもあるべき姿勢だと思います。いい仕事はお互いの信頼が前提だと思えます。会社を一度も辞めようと思ったことがないのも、自分を採ってくれた会社を裏切れないという気持ちが少なからず働いているからです。

一生を懸けられる仕事の中で夢を見つける(TBS 本社ビル)



もちろん、記者の仕事は精神的にも体力的にも辛く、失敗は許されません。NHKの2年目の記者が放火容疑で逮捕されたとき、仕事の悩みを動機に挙げていて、決して他人事とは思えませんでした。失敗すると頭ごなしに叱られ、いつもプレッシャーの中にいる境遇は記者なら新聞もテレビも同じです。

それでも続けていられるのは、報道を志す動機となった「社会を動かすきっかけを作りたい」という夢を持ち続けているからです。テレビの凄まじいところは、子供から高齢者まで誰もが理解できるということ。扱えるテーマは森羅万象で、実にさまざまです。考えただけで、ぞくぞくします。

私が意識していることは、一生を懸けてもいいと思える仕事の中で、さらに夢を見つけること。働く理由は人それぞれ。お金でもやりがいでも、なんでもいいと思います。みなさん、積極的に動いて、好きな仕事を見つけてください。私はいま仕事を楽しんでいます。

報道

明大生のみなさんへ



岩波孝祥 (いわなみ・たかよし)
 高校生時に「飢餓人口8億以上」という新聞記事を読み、国際協力に携わる仕事を志す。大学入学後、「世の中の関心を貧困問題に向かわせたい」とマスコミへの就職を決意、TBSテレビに報道職として入社。マスコミ研究室29期生。05年農学部卒。

第82回箱根駅伝総合順位

①	亜大	11時間09分26秒
②	山梨学大	11時間11分06秒
③	日大	11時間11分53秒
④	順大	11時間12分07秒
⑤	駒大	11時間12分42秒
⑥	東海大	11時間12分45秒
⑦	法大	11時間14分17秒
⑧	中大	11時間15分02秒
⑨	日体大	11時間15分59秒
⑩	東洋大	11時間16分00秒
⑪	城西大	11時間16分10秒
⑫	大東大	11時間17分52秒
⑬	早大	11時間19分10秒
⑭	国学院大	11時間21分03秒
⑮	専大	11時間21分40秒
⑯	神奈川大	11時間21分59秒
⑰	中央学大	11時間22分22秒
⑱	明大	11時間27分38秒
⑲	国士大	11時間33分02秒
	関東学連選抜	11時間29分10秒

※関東学連選抜は参考記録
 ※10位以上は来季出場権(シード権)獲得

幸田高明主将(政経4)「今年
はシード権を獲得すると思っていま
したが、不甲斐ない結果になってしま
った。しかし、僕自身2回も箱根を
走ることができて本当に良かった
です。主将らしいことはできません
でしたが、力のある後輩たちが
ついてきてくれてありがたかった。
みんなの協力のおかげで、ここま
で辿り着くことができました。僕
にとってこの4年間は宝物です」

第82回箱根駅伝

明大は総合18位、
シード権獲得ならず



山登りの5区を走りゴールテープを切る尾籠(芦ノ湖)

第82回東京箱根間往復大学駅伝競走(東京・大手町⇄箱根・芦ノ湖の10区間217.9km、出場19校・オープン参加1チーム)が1月2、3日に行われ、2年連続49回目の出場となった明大は11時間27分38秒の総合18位に終わり、40年ぶりのシード権獲得(総合10位以内)はならなかった。総合優勝は亜大(11時間9分26秒)。明大は1区・岡本直己(政経3)が6位と快走したが、その後は終始苦しい走りで行路を16位でフィニッシュ。復路も7区でルーキーの東野賢治(商1)が区間10位と健闘したものの、各選手とも本来の走りができず最下位の19位。結局前回と同じ総合18位となり、来季も予選会からの出場を目指す。

第82回東京箱根間往復大学駅伝競走総合記録

1区(21.4km) 大手町→鶴見	2区(23.2km) 鶴見→戸塚	3区(21.5km) 戸塚→平塚	4区(18.5km) 平塚→小田原	5区(23.4km) 小田原→箱根	往路成績(108.0km)
岡本直己(政経3) ⑥ 1時間04分00秒 ⑧ 1時間04分00秒	田中文昭(法3) ⑫ 1時間12分22秒 ⑭ 2時間16分22秒	幸田高明(政経4) ⑩ 1時間05分19秒 ⑬ 3時間21分41秒	吉岡秀司(法3) ⑭ 57分10秒 ⑮ 4時間18分51秒	尾籠浩考(文3) ⑬ 1時間23分58秒 ⑯ 5時間42分49秒	⑯ 5時間42分49秒
6区(20.8km) 箱根→小田原	7区(21.3km) 小田原→平塚	8区(21.5km) 平塚→戸塚	9区(23.2km) 戸塚→鶴見	10区(23.1km) 鶴見→大手町	復路成績(109.9km) 総合成績(217.9km)
辻村充(文4) ⑮ 1時間01分50秒 ⑰ 6時間44分39秒	東野賢治(商1) ⑩ 1時間05分39秒 ⑰ 7時間50分18秒	村上貴彦(政経1) ⑱ 1時間09分41秒 ⑲ 8時間59分59秒	池邊稔(商3) ⑰ 1時間12分58秒 ⑳ 10時間12分57秒	細井崇明(政経4) ⑮ 1時間14分41秒 ⑳ 11時間27分38秒	⑱ 5時間44分49秒 ⑳ 11時間27分38秒

※上段は区間順位・区間記録/下段は通算順位・通算記録

2006年度 学年暦

[前期]	
前期期間	4月1日(土)~9月19日(火)
学習指導	4月3日(月)~4月8日(土)
入学式	4月7日(金)
授業開始	4月10日(月)
補講期間(駿河台・和泉)	7月1日(土)~7月15日(土)
(生田)	7月20日(木)・21日(金)
定期試験	7月22日(月)~7月31日(月)
授業終了	7月31日(月)
夏季休業	8月1日(火)~9月19日(火)
[後期]	
後期期間	9月20日(水)~3月31日(土)
授業開始	9月20日(水)
補講期間(駿河台・和泉)	12月9日(土)~1月13日(土)
(生田)	1月22日(月)・23日(火)
冬季休業	12月25日(月)~1月7日(日)
定期試験(駿河台・和泉)	1月23日(火)~2月3日(土)
(生田)	1月24日(水)~2月3日(土)
授業終了	2月3日(土)
卒業式	3月26日(月)
学園祭	11月3日(金)~11月5日(日)
	11月24日(金)~11月26日(日)

※補講日については、学部により上記以外の場合もある。

▶5連覇を達成したアイスホッケー「写真提供・明大スポーツ」



第78回日本学生氷上競技選手権最終日が1月9日、北海道・帯広の森スピードスケート場などで行

スケート部が3部門完全制覇!!

日本学生氷上選手権

われ、明大スケート部が総合男子で5大会連続47度目の優勝を果たした。

明大はアイスホッケー決勝で法大を4-3と下し、41大会ぶりにスピード、フィギュア、アイスホッケーの3部門をすべて制した。

- ▼スピード男子
 - ①明大(3大会連続29度目)
 - ▼フィギュア男子
 - ①明大(9大会ぶり35度目)
 - ▼アイスホッケー男子
 - ①明大(5大会連続27度目)
 - ▼総合男子
 - ①明大(5大会連続47度目)
- ▼一回戦(花園) 12・18
 明大 24 (5 19) 43
 26 17 大体大

第42回全国大学ラグビー選手権